

中学校第3学年 美術科学習指導案

日時 平成16年10月18日(月)4校時
生徒 北上市立東陵中学校 3年B組
男子17名 女子20名 計37名
指導者 教諭 菊地 仁美

1 題材名 「15の自分を校舎に刻もう」創立10周年記念 石彫モニュメント

2 題材について

(1) 教材観

「デザインや工芸などに表現する活動」に基づき、自己の感情や考えを改めて見つめることで、自分をテーマとした“独創的な発想”を追求させていきたい。石材は硬く、加工にも時間や手間がかかるが、こうした抵抗感があるからこそ、困難な作業を通じて作品への思いが膨らみ、斬新な発想へと結びつき、完成後の達成感も大きくなると考える。

マルチメディアの活用については「伝えたい内容をイラストレーションや図、写真・ビデオ・コンピュータ等映像ビデオなどでわかりやすく美しく表現し、発表したり交流したりすること」の内容に関わり、写真を編集したり構成したりして伝えたい内容のデザインに活用することを具体的に取り入れ、構想をふくらませることにつなげたい。

また、導入部分におけるインターネットでの鑑賞資料の提示としても積極的に活用していきたい。

(2) 生徒観

与えられた課題にはじっくりと取り組み、質の高い作品を作り上げることのできる力を持っている生徒は多い。はしゃいだり、いたずらしたりする生徒もほとんどなく、単位時間を黙々と作業に徹する姿勢を持っている。

彫刻作品については二年生で木彫小箱の制作に取り組んだ。根気が要求される作業であったが抵抗感のある素材に対して刃物の扱いをよく工夫しながら根気よく取り組んだ。

今回は抽象彫刻であり環境との調和も考えるという点で、発想の豊かさが要求される。広く作例を鑑賞させ、構想段階で生き生きと取り組み、造形活動にさらに喜びを感じる生徒になってもらいたい。

本時は作品と背景の合成画像を鑑賞しあう時間であり、グループで、ある程度の打ち合わせが必要になってくるので、スムーズな発表となるように時間を確保して準備させたい。また、鑑賞会での意見交換もさせたいが、やや自由な意見交換ができる雰囲気欠ける面があるので、日常の班活動や、学級活動の中で本時に向けた環境づくりも進めていきたい。

(3) 指導観

昨今、「環境造形」や「公共空間の美術」は生活との関係からも重要な分野として注目されてきている。それは人間が健全な生活を営むうえで、環境を造形的な側面から改善していくことは欠くことのできない条件であるという認識が深まってきたからである。また、環境や雰囲気を十分に考慮したモニュメントは人に安らぎを与えたり、楽しませたりしてくれるなど、大きな影響を与えるものである。このことを制作に入る前に、鑑賞資料などで理解し、シミュレーションによって具体的に自分の作品を公共空間に置いた画像の鑑賞会を経て、具体的に彫刻の制作に入りたい。

本題材では「15の自分を校舎に刻もう」をテーマとし、創立10周年を迎える本校の記念モニュメントとしての性格づけをすることによって、生徒が自分の作品へいっそうの思い入れをもって制作することを期待したい。この校舎で3年間過ごしてきた自分を、10周年という節目に、自分なりの思い入れのある場所に刻み込むことで、自分自身と向かい合い、自信を持って進路に向かう証しとしてもらいたい。作品が完成し、校舎に設置されることを想定する時、生徒も達成感を持って記念すべき節目の年を実感できるのではないかと。

3 題材の目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 公共空間と立体造形に関心を持ち、そのよさや美しさを発見しようとする。
- ・ テーマをもとに、工夫しながら造形活動に意欲的に取り組むことができる。

【発想・構想の能力】

- ・ 多様な作品の鑑賞をもとにして自分の発想を広げ、テーマを決定することができる。
- ・ テーマに基づいて発想を広げ、美しく表現できるように構想を練ることができる。

【創造的な技能】

- ・ 材料の特性や用具の使用法を理解し、手順に基づいて的確に制作を進めることができる。
- ・ パソコンソフトの使用法を理解し、手順に従って作品写真と背景写真の合成を行い、テーマにふさわしい画像の作成ができる。

【鑑賞の能力】

- ・ 公共空間と立体造形について、自分たちなりの見方や感じ方で、作者の心情や意図と表現の工夫や多様性について感じ取り、鑑賞の喜びを味わうことができる。
- ・ 合成写真の鑑賞会で、発表内容をよく聞き、積極的に意見を述べ、感じたことを記録できる。
- ・ 友達の作品の表現意図や良さ、美しさを感じ取り鑑賞の喜びを味わうことができる。

4 題材の指導計画と評価規準

次	時	指導目標	関心・意欲・態度	発想・構想	創造的技能	鑑賞の能力
第1次	1	郷土の作家とその彫刻作品について知り、彫刻への関心を持つ。	彫刻の面白さ・多様性について興味を持つことができる。			作者の意図や表現の工夫などを感じ取ることができる。
	2	公共空間と立体造形の鑑賞をし、多様な表現について知る。	公共空間と立体造形に関心を持ち、そのよさや美しさを発見しようとする。			パブリックアートのよさを味わい、表現の多様性を感じとることができる。
第2次	3	自分の内面に向かい合った作文を書き、テーマを設定する。	まじめに自分と向かい合い、作文を最後まできちんと書くことができる。	自分の内面に迫った作文を書き上げ、その作文から記念にふさわしいテーマを決定することができる。		
	4	アイディアスケッチを描き、立体としての具体的な構想を立てる。	イメージを具体化するために、アイディアを完成させることができる。	イメージにそって、工夫しながらより美しい表現となるように構想を練ることができる。		
第3次	5	テーマに基づいて粘土で試作品を制作する。	構想をもとにして時間内にイメージに合った粘土の試作品を完成させることができる	アイディアスケッチをもとに、テーマ追求の姿勢を持って試作品をつくることことができる。	粘土の質を理解し、手際よくメリハリのある形態を追求し、イメージに合った試作品を作り上げることができる。	
	6 7	学校環境と作品の調和を考え、ふさわしい場所をデジカメにおさめる。	自分の作品に合う校内風景を積極的に探そうとしている。	イメージに合った場所と作品の組み合わせを発想できる。	校内風景と作品の写真を的確に撮影し、パソコンに取り込むことができる。	

	8	校内風景と作品をパソコンで組み合わせる。	パソコン操作に興味を持って、最後まで取り組むことができる。	組み合わせや構図などをよく考え合成画像を完成することができる。	パソコンソフトの使用法を理解し、手順に従って写真の合成を行い、テーマにふさわしい画像の作成ができる。	
	9 (本時)	グループごとに発表内容をまとめ、鑑賞会を行う。アイデアスケッチの検討・修正を行う。	鑑賞会で感じたことをもとに、意欲を持ってアイデアスケッチ修正に取り組むことができる。	自分の作品をよく見直し、アイデアスケッチを検討・修正し、構想を練り直すことができる。		友達の子作品の表現意図や良さ、美しさを感じ取り鑑賞の喜びを味わっている。
第4次	10	石材を選定し、石材に下がきをする。	イメージに合った石材をよく見て選定することができる。		アイデアスケッチをもとに、多方向からの確かな下がきをすることができる。	
	11 ~ 15	石彫の技法や使用する用具をよく理解し、荒削りから仕上げ彫りへと制作を進める。	石彫技法をよく理解し、意欲的に作業を進めようとしている。		段階に応じて用具を使いわけ彫刻の作業を進め、イメージどおりの形を作ることができる。	
	16 ~ 17	磨きや塗装の作業を行い、完成作品としてふさわしい仕上げをする。	より質の高い完成作品目指して丁寧に最後まで仕上げ作業を行うことができる。		サンドペーパーや耐水ペーパー、塗料などの特性を理解し、最後まで粘り強く仕上げの作業を行うことができる。	
	18	完成作品の鑑賞会を持ち、互いの作品のよさや美しさを交流しあう。	他の作品のよさや美しさを積極的に発見しようとしている。			自分や仲間の完成作品を鑑賞し、その意図や良さを味わうことができる。

5 本時の指導

(1) 目標

- ・ 作品と背景を合成した画像を鑑賞し、意図やねらいなどを交流させ、鑑賞の喜びを味わわせる。
- ・ モニュメントにふさわしい形をさらに追求しようという意欲を持たせる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 評価の観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
美術への関心 ・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品のよさや美しさを発見しながら鑑賞の喜びを味わい、制作への意欲化が図られている。 ・ 発表内容を全体にわかりやすく伝えるために積極的にグループ発表に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品のよさや美しさを発見し、次の制作へと結びつけることができる。 ・ グループ発表にあたり、自分の役割をきちんと果たし活動に貢献している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素直な感想が書きとめられるように、発表内容をよく聞き取るよう心がけさせる。 ・ グループの中の自分の役割を確認させ、活動に貢献できるように声がけを行う。

発想や構想の能力	・鑑賞会を通して、さらにテーマにそった形の発想を広げ、追求する意欲を持って再度構想を練り直すことができる。	・鑑賞会を通して、形の発想を広げ、アイデアスケッチを検討・修正し、構想を練り直すことができる。	・自分のテーマを確認し、他作品を鑑賞させながら、再びアイデアスケッチに向かい合うことを促す。
鑑賞の能力	・感性や想像力を十分働かせて友達の作品の表現意図を深く感じ取り、共感している。 ・さまざまな角度から友達の作品のよさや美しさを深く感じ取り、鑑賞の喜びを十分に味わっている。	・自分なりの見方や感じ方で友達の作品の表現意図を感じ取っている。 ・友達の作品のよさや美しさを感じ取り、鑑賞の喜びを味わっている。	・学習プリントの内容を個別に確認させ、作品鑑賞の観点を改めて押さえさせる。 ・グループの発表内容を再度確認させ、意図や形の関係性について個別に説明する。

(3) 展開

段階	学習活動及び内容、予想される生徒の反応等	支援 評価 留意事項 教具等
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習内容をふりかえり、本時の学習内容を知る。 ・班ごとに発表内容の確認をし、鑑賞会の準備をする。 ・学習プリントにしたがって鑑賞の観点を明確にし、記入しながら鑑賞会に参加することを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習課題 「学校環境にふさわしいモニュメントを考えよう!! 追求しよう!!」</p> </div>	<p>進んで学習活動に向かう意欲や雰囲気をつくる。</p> <p>各グループ、発表の準備ができたか。すぐに発表に入れる体制であることを確認する。</p> <p>学習プリント準備・配布する。</p>
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに発表を始める。 ・班の発表の基本的な流れ <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>各作品（画像）の紹介（スライドショー） 班で選んだ作品の紹介 推薦理由（技術面、工夫、環境との関わり）発表 テーマや込められた思いなどの発表</p> </div> ・発表を聞きながら感想を書き取る。 ・画像として、自分や仲間の作品を改めて鑑賞した時の驚きや喜び・発見を大切にして感想を手早く書き留められるようにする。 ・今後の自分の作品について発想をどう広げ、構想をどう練り直していくかを具体的にイメージしながら鑑賞する。 ・鑑賞会終了後、アイデアスケッチと向かい合い、図を検討・修正する。 ・修正したい箇所は思い切りよく直していくようにする。 	<p>学習課題が確認できたか。必要なことはメモしながら鑑賞すること指示する。</p> <p>パソコン、プロジェクターなど班で3分以内の発表にすることを確認する。</p> <p>発表や感想記録がきちんと行われているか。</p> <p>テンポよく、メリハリのある発表にしたい。</p> <p>改めて画像として提示した時の新鮮な感動を大切にしたい。</p> <p>友達の作品のよさ、美しさを感じ取り、感想を自分の言葉で書きとめられたか。</p> <p>検討・修正に当たっての観点を学習プリントで改めて確認させる。</p> <p>形態追求への新たな意欲がわき、アイデアスケッチを検討・修正することができたか。</p>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・修正に入った生徒作品を1～2紹介する。 ・本時の評価を聞き、次時からの取り組みへの意欲を新たにす。 ・次時の予告 	<p>鑑賞会に起因する意欲化が図られたか</p> <p>全体の評価を行う。</p> <p>石材を示し、具体的に取り組み内容を提示したい。</p>